

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 5月以降、旅行者に限らず、ブルガリアに長くお住まいの邦人の方でもタクシーで法外な料金を請求される被害に遭う事例が多数報告されています。

まず走り始めにメーターの動きをよく見て、急激に値段が上がっていくようであればすぐに車を止めて降車するなどし、被害を未然に防ぎましょう。

また、法外な料金を請求された場合には、レシートを忘れずに徴収し、その車両のナンバープレート及び会社名等を記録しておきましょう。後日会社に悪質な運転手として通報し、処罰を求めることも可能です。

(2) 夏季休暇の季節に入り、黒海やギリシャ方向への交通量が増大しています。

ブルガリアにおける交通マナーは劣悪であり、年間交通死亡事故件数は人口比でEU加盟国内でも1、2位を争うほどです。車で長距離移動を計画される方はご自身の安全運転はもちろん、事故に巻き込まれないように周囲の車の動向には十分気をつけましょう。

2 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していませんが、6月に入ってから、ソフィア国際空港に対し電話による爆破予告が2回発生しています。捜査の結果いずれもテロではなく、私怨によるものであることが判明していますが、安全が確認されるまで空港の出入りは完全に停止されます。空港滞在中に治安当局によるアナウンスらしきものが聞こえた際には、落ち着いて周囲の利用客と同じ行動をとるようにしましょう。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は報告されていません。

以上